

第13回宇宙輸送システム部会 議事要旨

1. 日時：平成26年3月18日（火） 14：00－16：00

2. 場所：内閣府宇宙戦略室 大会議室

3. 出席者

(1) 委員

山川部会長、白坂部会長代理、仁藤委員、御正委員、薬師寺委員、渡邊委員

(2) 事務局

西本宇宙戦略室長、中村宇宙戦略室審議官、森宇宙戦略室参事官、頓宮宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

(1) 新型基幹ロケットの開発管理について

資料1「新型基幹ロケット開発の進め方（案）」※について、審議を行った。

審議の中で委員から以下のような意見があった。

※資料1は、昨年5月の「宇宙輸送システム部会の中間とりまとめ」、昨年10月の「新型基幹ロケット開発着手に当たり整理すべき事項に関する取りまとめ」の二つの文書における、新型基幹ロケットの記述を整理し、今後、踏まえるべき開発の進め方として、とりまとめるものである。

○新型基幹ロケットの開発において JAXA と民間事業者の間で意見が対立することも想定されるが、その場合、当事者同士の話し合いを基本としつつ、必要に応じて宇宙政策委員会でも議論を行い、方針を示すことも検討すべき。

審議の結果、資料1は部会長一任で文言等の事務的な修正を行い、次回の部会で再度審議することとなった。

その後、新型基幹ロケット開発におけるミッション要求等の設定について、文部科学省及び JAXA からヒアリングを行った。ヒアリングを受けて、新型基幹ロケット開発におけるミッション要求等の設定について、議論を行った。議論の中で委員から以下のような意見があった。

○国際競争力の確保の観点からは、打ち上げ回数の確保及び打ち上げサービスの受注に向けた強力な営業活動が必要。JAXA と民間事業者が連携するとともに、トップセールスを行う等我が国の総力を結集して取り組むべき。

○新型基幹ロケット開発は、2020年頃の競合ロケットの動向を踏まえて実施する必要があり、所要の調査・検討を一層進めるべき。

○打ち上げサービスの利用者の観点からは、射場へのアクセスの利便性も重要。

新型基幹ロケット開発におけるミッション要求等の設定については、引き続き議論することとなった。

以上